

基本目標1 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値に対する所見
就業者数	7,740人(平成27年)	6,300人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	6,300	—	実績値については、国勢調査実施年度である令和7年度のみ算出可能なため、令和3年度～令和6年度における実績値は算出不可。
			実績値	—					—	

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 人材育成・雇用対策									
① 地域人材の就労支援									
豊かな労働環境の充実支援事業	砂川高校からの市内企業就職率 ／36.7%(令和元年)→40.0%(5年間)	目標値	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	—	市内就職者率は前年から変わりなく推移している。引き続き同様の取組を継続していく。
		実績値	36.6					—	
② 企業立地等の促進による就労の拡大									
雇用創出事業(企業振興促進対策事業)	施設新設等を行った企業の新規雇用者数 ／0人(令和元年)→15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	施設新設による補助の実績はあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規雇用を見送っていたことから、実績値としてはあがっていない。今後の社会情勢をみながら、引き続き事業を継続していく。
		実績値	0					0	
③ 医療・介護従事者等の確保・育成									
介護人材育成支援事業	研修終了者数 ／1人(令和元年)→35人(5年間)	目標値	7	7	7	7	7	35	令和3年度より初任者研修のほか、介護福祉士実務者研修を補助対象としたことで幅広い人材への研修受講に繋がった。引き続き、介護人材の安定確保のため制度活用の推進に努める。
		実績値	7					7	
④ 農業の担い手の確保・育成									
農作業受託組織等育成支援事業	農作業受託面積 目標値の設定が困難なため、実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが、農作業受託団体等の組織の設立までは至らなかった。今後も組織の設立を促進していくとともに、農作業を受託している団体等へは機械導入費用などを支援する。
		実績値	0					—	
新規就農者支援事業	新規就農者数 ／3人(第1期6年間)→4人(5年間)	目標値	0	1	1	1	1	4	今年度は2人(施設野菜・米)が新規就農した。今後も引き続き新規就農者の誘致の取り組みを図るとともに、新規就農者に対して農業機械や資材等の購入への支援を実施する。
		実績値	2					2	
(2) 産業の競争力強化									
① 商工業振興策の実施									
地域ブランド構築事業	チームを構成する事業者数 ／21事業者(令和元年)→75事業者(令和7年)	目標値	41	51	59	67	75	—	オアシスリパブリックプロジェクトの活動を進めていくことで認知度が向上し、プロジェクトに参加する事業者数が増えている。今後とも地域内での認知度向上させるべく取り組みを進める。
		実績値	40					—	
	地域ブランドの商品数 ／22品(令和元年)→50品(令和7年)	目標値	30	35	40	45	50	—	新型コロナウイルス感染症の影響により展示会等への出展は中止となったが、本事業で3つ商品を開発した。今後とも事業者同士の連携を促し、商品を生み出していきたい。
		実績値	29					—	
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数及び事業承継件数 ／2件(令和元年)→4件(令和7年)	目標値	2	2	3	3	4	—	ワンストップ相談窓口などの創業支援事業及び関係団体の連携により、3件の創業、2件の事業承継が実現した。また、商工会議所による創業セミナーが開催され、延39人(実14人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
		実績値	5					—	
② 農業振興策の実施									
スマート農業推進事業	機器を導入したハウス数 ／0棟(令和元年)→100棟(5年間)	目標値	100	—	—	—	—	—	活用実績がなかったことにより、目標値を達成できなかった。本事業については令和3年度をもって終了となったが、今後は「空知スマート農業推進協議会」等で情報収集に努める。
		実績値	0	—	—	—	—	—	
農業6次産業化支援事業	連携取組数 KPIの設定が困難なため実績値の管理とする	目標値	—	—	—	—	—	—	随時相談受付を行っているが実績はなかった。今後も6次産業化に向けた取り組みを推進するとともに、各種支援制度について情報提供などを行う。
		実績値	0					—	

小計(事業数:9、KPI数:8)

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値に対する所見
観光入込客数	1,625千人(令和元年)	1,638千人(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	目標値を下回った主な要因は、新型コロナウイルスの影響により、各種団体による事業が相次いで中止となったことや、不要不急の外出・往来の自粛などの感染拡大防止措置に伴う観光需要の停滞から、観光入込客数が減少したものと考える。
			実績値	902.9					—	

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 地域と多様な形で関わる人口の拡大									
① 移住定住の促進									
移住定住促進事業	お試し暮らしの利用組数 ／7組(令和元年)→55組(5年間)	目標値	11	11	11	11	11	55	令和3年度のお試し暮らしの利用は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止でキャンセルが相次ぎ、2組4人と昨年度(3組9人)より減少し、目標値まで達しなかった。現在は市HPや協力隊SNS等により砂川市に関する幅広い情報発信をしているほか、オンライン移住相談会の予約受付を実施しており、今後も引き続き情報提供の充実及び関係人口の増加を図る。
		実績値	2					2	
医療・介護従事者移住定住促進事業	補助金交付件数 ／一件(令和元年)→10件(各年度)	目標値	10	10	10	10	10	—	目標値に対し、1件の減であり、概ね見込みどおりの実績であった。今後においても、情報提供の充実を行い、利用促進を図る。
		実績値	9					—	
UIJターン新規就業支援事業	支援金交付件数 ／一件(令和2年)→1件(各年度)	目標値	—	1	1	1	1	—	令和4年度新規事業
		実績値	—					—	
	マッチングサイト求人掲載数 ／一社(令和2年)→5社(各年度)	目標値	—	5	5	5	5	—	令和4年度新規事業
		実績値	—					—	
② 観光振興の推進									
観光客誘客宣伝推進事業	観光入込客数 ／1,625千人(令和元年)→1,638件(令和7年)	目標値	1,627	1,630	1,633	1,635	1,638	—	目標値を下回った主な要因は、新型コロナウイルスの影響により、各種団体による事業が相次いで中止となったことや、不要不急の外出・往来の自粛などの感染拡大防止措置によるものと考えられる。今後は社会情勢を見定めながら、各観光関連団体や事業者と連携したなかで、その時々状況に応じた対応の検討が必要である。
		実績値	902.9					—	
	砂川観光協会ホームページアクセス数 ／132千件(令和元年)→134千件(令和7年)	目標値	132.4	132.8	133.2	133.6	134.0	—	目標値を上回った主な要因は、観光マップに加え、雑誌やテレビ・SNSなど各種メディアを活用し、砂川の魅力を効果的に情報発信したことによるものと考えられる。今後は社会情勢を見定めながら、各観光関連団体や事業者と連携したなかで、効果的な情報発信の検討が必要である。
		実績値	132.6					—	
ふるさと応援寄附金推進事業	ふるさと応援寄附者の情報メール新規登録件数 ／87件(令和元年)→120件(各年度)	目標値	120	120	120	120	120	—	ふるさと応援寄附金の寄附者が増えたことによる増加。今後は、掲載サイトの充実させ、寄附者のさらなる増加を目指す。
		実績値	231					—	
③ まちなかのにぎわい創出									
駅前地区整備事業	施設前の歩行者通行数 ／273人/日(令和元年)→327人/日(令和7年)	目標値	—	—	—	330	327	—	施設整備前のため、歩行者数を計測していない。
		実績値	—					—	
(2) 高等学校の活性化									
① 地元学校への進学促進									
砂川高校支援事業	砂川高校入学間口数 ／3間口(令和元年)→3間口(令和7年)	目標値	3	3	3	3	3	—	目標値は達しているが、入学者数は49人であり、前年度(67人)より減となった。今後も生徒数の確保はもとより、充実した学習活動を支援し、地域の貴重な人材育成に寄与するよう高校と連携を図っていく。
		実績値	3					—	

小計(事業数:7、KPI数:9)

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値に対する所見
出生数	74人(令和元年)	108人(令和7年)	目標値	—	—	—	—	108	—	令和3年の出生数は72人、合計特殊出生率は1.12と低率で推移している。出生率低下の要因は多岐にわたるので、各担当部署の支援にとどまらず、市全体の取組みとして、対策を考えていく必要がある。
			実績値	72						

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援									
① 婚活支援の推進									
すながわ出合い創出支援事業	実施事業への参加者数 ／0人(令和元年)→30人(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	令和3年度はコロナ禍による感染症拡大が続いた影響により、事業の実施に至らなかったため、オンラインを活用した婚活イベントの実施や婚活アプリの実態等の情報収集を行った。今後は、対面イベントが再開することも視野に入れながら、オンライン婚活の可能性なども検討していく。
		実績値	0						
結婚新生活支援事業	支援を受けた組数 ／一組(令和元年)→5組(各年度)	目標値	5	5	5	5	5	—	目標値の5組を達成している。所得制限もあるため対象者は限定的だが、今後も婚姻届提出者には漏れなく制度の周知を図っていく。
		実績値	5						
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援									
① 妊娠・出産への支援の実施									
特定不妊治療費助成事業	利用者アンケートにおいて「満足」と回答した割合 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値は目標を達成した。今年度6人(延11人に助成)の回答から、経済的負担が軽くなる、治療を受ける後押しとなるが理由にあがる。令和4年度からは、一部保険適用となり、今後の体制を検討する必要がある。
		実績値	100.0						
妊婦一般健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用枚数 ／525件(令和元年)→670枚(各年度)	目標値	670	670	670	670	670	—	妊娠届出数82名、転入8名。全妊婦が健診を受診している。里帰りの場合も、各医療機関と委託契約を締結して、経済的負担の軽減を図っている。今後も継続していく。
		実績値	577						
子育て世代への切れ目のない相談支援事業	訪問指導実施率 ／—(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	実績値の内訳は、初妊婦訪問は93.8%だが、転出のため未訪問となった以外は全妊婦に会えている。乳児全戸訪問は100%で、育児のスタートの状況を共有し、必要な支援を行っている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1歳児バクバクひろばの中止等はあるが、個別に電話や面接、文書指導にて支援を継続してきた。
		実績値	96.9						
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／44.7%(令和元年)→60%(各年度)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	登録者35名の内、8名の利用があった。登録率は目標に達していない。必要な妊婦へ事業が認知され、出産時の安心に繋がってよう、今後も周知を継続していく。
		実績値	46.1						
② 子ども・子育て支援の充実									
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育充足率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	利用登録者76名、実利用者23名、延べ利用者90名。新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止措置等により、児童等の風邪症状が見られる場合、家族全員の自宅療養が勧められるなど、保護者が休んで保育するケースが多かった。利用者アンケートでは、サービス満足度も高いことから、引き続き安全・安心な環境を整備していく。
		実績値	100.0						
市立保育所開放事業	参加親子組数 ／102組(令和元年)→150組(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	新型コロナウイルス感染防止等のため、流行期の開催を中止したことにより、3保育所で計30回の実施を予定していたが、計14回の実施となった。保育所が持つ専門的機能を地域の保護者へ積極的に提供していく必要があり、今後利用者が増加するように取り組む。
		実績値	24						
市立保育所一時保育事業	一時保育事業実施率 ／100%(令和元年)→100%(各年度)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	延べ利用者648名。新型コロナウイルス感染症の影響により、流行時期の利用を控えた世帯があった。今年度「私的(主にリフレッシュ)」での利用が多く、今後も保育士を確保した中で、様々なニーズに応えられる体制を整えていく。
		実績値	100.0						
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(令和元年)→0人(各年度)	目標値	0	0	0	0	0	—	今年度も待機児童を出さず運営できた。また北光学童保育所の公営化もスムーズに行えた。年度途中で指導員の退職が相次ぎ、人員確保に苦労したことから、安定的な運営ができるよう人材確保対策が喫緊の課題である。
		実績値	0						
③ 子育て世帯の経済的負担の軽減									
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	クーポンを利用した世帯の割合 ／57.7%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業休止又は施設利用の一部制限等により、クーポン券利用世帯が大幅に減少している。外出制限等の緩和により、徐々に利用の増加が見込まれるが、引き続き周知を図っていく。
		実績値	32.7						
乳幼児等医療費助成事業	対象者1人当たりの助成額 ／—(令和元年)→8,400円(各年度)	目標値	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	—	新型コロナウイルスの影響による受診控えは落ち着いてきているが、インフルエンザ等の感染症の減少などもあり医療費が低く抑えられたと想定される。医療費が高くなることが必ずしも良いとは言えない部分があるが、子育て世帯の負担軽減となるよう、必要な時に医療を受けやすい環境の整備を継続していく。
		実績値	7,493						
インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	接種率 ／55.9%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	60.0	—	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、高齢者の接種率が高く、市外から市内医院への予約も重なり、希望する中学生以下の対象者に十分接種が出来なかった。自己負担の助成は保護者の経済的負担軽減に繋がるため、今後も継続していく。
		実績値	39.9						

施策名・事業名		重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
④ 小中学校の学習環境の充実										
放課後学習サポート事業	授業理解度 ／85.0%(令和元年)→87.5%(令和7年)	目標値	85.0	85.0	85.0	87.5	87.5	—	結果として目標値を上回り、全国・全道平均と比べても上回っているなど、一定の成果があると考えている。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者数が減少したことから、より周知を図るなど制度の有効活用を推進させていく。	
		実績値	87.8					—		
中学校英語教育推進事業	英語検定合格率 ／—(令和元年)→50%(令和7年)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	実施初年度となった令和3年度は、114名の受検があり86名が合格(75.4%)となり、目標値を超え一定の効果はあったと考える。しかし、受検者数が全体の32%程度であることから、学校との連携を図りながら当制度の有効な活用を推進していく。	
		実績値	75.0					—		
小中学校適正配置推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	砂川市立小中学校統合準備委員会を7回、砂川市立小中一貫教育推進委員会を4回開催し、統合と小中一貫教育の推進について議論を重ね、道内先進地への視察を行った。今後についても先進地視察や統合準備委員会等における協議を継続し、令和5年度の中学校統合及び令和8年度の義務教育学校の開校を円滑に進める。	
		実績値	—	—	—	—	—	—		

小計(事業数:16、KPI数:15)

基本目標4 安心して暮らし続けることができる地域をつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値に対する所見
人口増減率	△7.04%(平成27年～令和2年)	△5.13%(令和2年～令和7年)	目標値	—	—	—	—	—	△5.13%	基準値と令和3年度の実績値(H28～R3)を比較すると、人口減少は進んでいる傾向がみられる。R元年10月～R2年9月の自然・社会増減の合計は△312人に対し、R2年10月～R3年9月の自然・社会増減の合計は△356人と、減少幅が拡大していることが影響していると考えられ、特に、社会増減が△60人となっているため、転出入者の動向を確認し、対策につなげる必要がある。
			実績値	△7.77%						

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保									
① 地域包括ケアシステムの充実									
砂川市地域包括ケアネットワーク事業 (情報共有ネットワーク事業)	事業所が参照したデータ件数 ／21,866件(令和元年)→22,000件(令和7年)	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	—	開始から7年半が経過し、事業の浸透が図られたことにより、情報提供の同意件数が順調に推移している。また、医療機関や介護事業所等、関係機関によるアクセス数も順調に増えており、在宅医療・介護連携の推進が図られている。今後も在宅医療・介護の推進を図るため本システムの活用を継続する。
		実績値	30,378						
② 健康維持・増進の推進									
健康管理支援事業	国保特定健診受診率 ／54.7%(令和元年)→60%(令和7年)	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	—	特定健診の実績値は暫定値であり、R2年度の法定報告値も51.7%で目標値には達していない。がん検診は、勧奨する対象を拡大し受診数が伸びた。乳幼児健診は、例年通りほぼ100%を維持している。国保特定健診、がん検診は、さらなる受診率向上に向けて取り組んでいく。
		実績値	暫定値43.1						
健康ポイント事業	参加申請者数 ／991人(令和元年)→1,250人(令和7年)	目標値	1,050	1,100	1,150	1,200	1,250	—	ポイント対象事業のうち、特定健診やがん検診は計画通り実施できたが、食生活改善協議会やスポーツ振興課、市立病院などの事業が新型コロナウイルス感染症の感染対策のため中止となり、事業周知の機会が減ってしまった。今後も、健(検)診以外での周知もさらに検討していく。
		実績値	905						
若年者生活習慣病予防健診事業	保健指導実施率 ／—(令和元年)→100%(令和7年)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	小学5年生25名(受診率22.9%)、成人1名に実施。保護者及び本人も来所できる時は一緒に面接し、有所見項目や食生活を含む心配な生活習慣に対し、保健指導や栄養指導を行えた。小児のメタボリックシンドロームが懸念される小学生もいたため、今後も健診結果の事後指導を丁寧に行っていく必要がある。
		実績値	100.0						
いきいき元気推進事業	レクリエーション活動等の利用者数 ／—(令和元年)→480人(各年度)	目標値	480	480	480	480	480	—	R3.10月よりトレーニングルームの運用を開始しており、事業実施期間が半年間だったことに加え、まん延防止等重点措置に伴い、臨時休館した影響による減。R4年度は独自事業や他部署との連携を図りながら事業を実施していく。
		実績値	143						
③ 高齢者等の在宅生活の支援									
地域高齢者見守り事業	情報交換を実施した団体数(3年で一巡) ／30団体(令和元年)→30団体(各年度)	目標値	30	30	30	30	30	—	新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、町内会との情報交換を見送った。令和4年度以降については、高齢者名簿情報提供事業と併せて実施予定。
		実績値	0						
生活支援体制整備事業	地域事情の把握に努めた町内会・自治会の数 ／4団体(令和元年)→15団体(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	社協主催の「地域の魅力と絆を語ろう会」を空知太第5町内会、新石山団地町内会において実施した。また、空知太すみれ町内会ではコロナや町内会役員改選の事情により、語ろう会は延期したものの、実施に向けた打ち合わせの中で地域事情の把握に繋がっている。
		実績値	3					3	
④ 地域公共交通の確保・維持									
JR砂川駅設備改善事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	令和3年度は、JR砂川駅東口整備調査業務委託として、交通量調査、利用者意向調査、アンケート調査を実施し、駅の現状・課題の整理を行い、東口整備の方針、整備概略図の作成を行った。今後においても、砂川駅の東口整備等の整備改善について協議を継続し、高齢者や障がい者等をはじめとするJR砂川駅の利用者の利便性の向上の実現に向けた取り組みを進めていく。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
予約型乗合タクシー運行事業	乗合タクシーの利用者数 ／8,431人(令和元年)→8,431人(各年度)	目標値	8,431	8,431	8,431	8,431	8,431	—	乗合タクシー登録者が増加したことや、周知を行ったことにより利用者が増加した。今後も市民の日常生活に必要な交通手段を確保することで、市民生活の利便性の向上を図る。
		実績値	8,583						
⑤ 災害対策の実施									
防災情報発信事業(災害対策事業)	SNS砂川市公式アカウント登録率 ／—(令和元年)→13%(令和7年)	目標値	8.2	9.4	10.6	11.8	13.0	—	防災情報の他、市政に関する情報を選択して受け取る機能を追加した。今後もSNSの特性を生かした情報伝達を進め、登録増を目指す。
		実績値	15.6						
自主防災組織育成事業(災害対策事業)	自主防災組織数 ／13団体(令和元年)→15団体(令和7年)	目標値	14	14	15	15	15	—	新規設置なしによる減。コロナ禍で町内会の事業実施が制限されている状況ではあるが、防災意識の向上を図るため、町内会長へ新規設置の働きかけを続ける。
		実績値	13						
⑥ 暮らしを支えるデジタル化の推進									
住民票等コンビニ交付サービス事業	発行した証明書の件数 ／—(令和2年)→2,121件(令和7年)	目標値	—	264	1,272	1,483	2,121	—	令和4年度新規事業
		実績値	—					—	
	マイナンバーカード交付枚数率 ／27.4%(令和2年)→100%(令和7年)	目標値	—	50.0	60.0	70.0	100.0	—	令和4年度新規事業
		実績値	—					—	

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計	令和3年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化									
① 良質な住宅ストックの確保									
ハートフル住まいる推進事業	補助金交付件数 ／216件(令和元年)→150件(各年度)	目標値	150	150	150	150	150	—	令和3年度に補助金制度の拡充を行ったことで、幅広い工事が補助対象となったため、申請件数が増加した。5つの補助金事業として実施しているが、誰もが安全に安心して住み続けることができる住環境づくり、定住促進、まちなか居住に寄与しているものであり、今後においても、社会情勢や需要の変化など、状況に応じた制度の見直しや拡充を行い、事業を継続する。
		実績値	258					—	
住み替え支援事業	補助金交付件数 ／115件(令和元年度)→87件(各年度)	目標値	87	87	87	87	87	—	移住促進補助金の申請増が主なものであり、補助金制度のPR活動により、制度の浸透が図れたと考える。今後も継続してPR活動を行い、空き家の利活用や移住定住の促進を図る。
		実績値	95					—	
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成									
① 他の地方公共団体と連携した施策の実施									
広域行政推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	各種事業や共同処理事務は順調に実施され、広域的な事業展開が図られている。今後も第4次中空知ふるさと市町村圏計画に基づき、継続して広域連携を進めるとともに、第5次計画の策定を進める。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
定住自立圏推進事業	KPIの設定が困難なため設定しない	目標値	—	—	—	—	—	—	令和3年度は、これまでも実施してきた地元学生を対象とした合同企業説明会をオンラインで実施したところ、98名(砂川高校:9名)の高校生・短大生が参加し、地元企業を知る良い機会となった。今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信に継続して取り組むほか、他の連携事業についても他市町と連携・協力しながら実施する。
		実績値	—	—	—	—	—	—	
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保									
① 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり									

小計(事業数:16、KPI数:14)

合計(事業数:48、KPI数:46)